

現在実施している調査等

- (1) 調査目的・方法 P 2
- (2) 2016/11/26に生じた沈下と対策 P 4

平成28年11月29日(火)

(1) 調査目的・方法

■調査目的

「はかた駅前通り仮復旧道路の安全性を確認するための『専門技術者による会議』」において、道路の供用再開後に確認が必要な項目として、ボーリング調査の実施を行うよう助言があったことから、下記A, B, Cの項目について調査を行うものである。

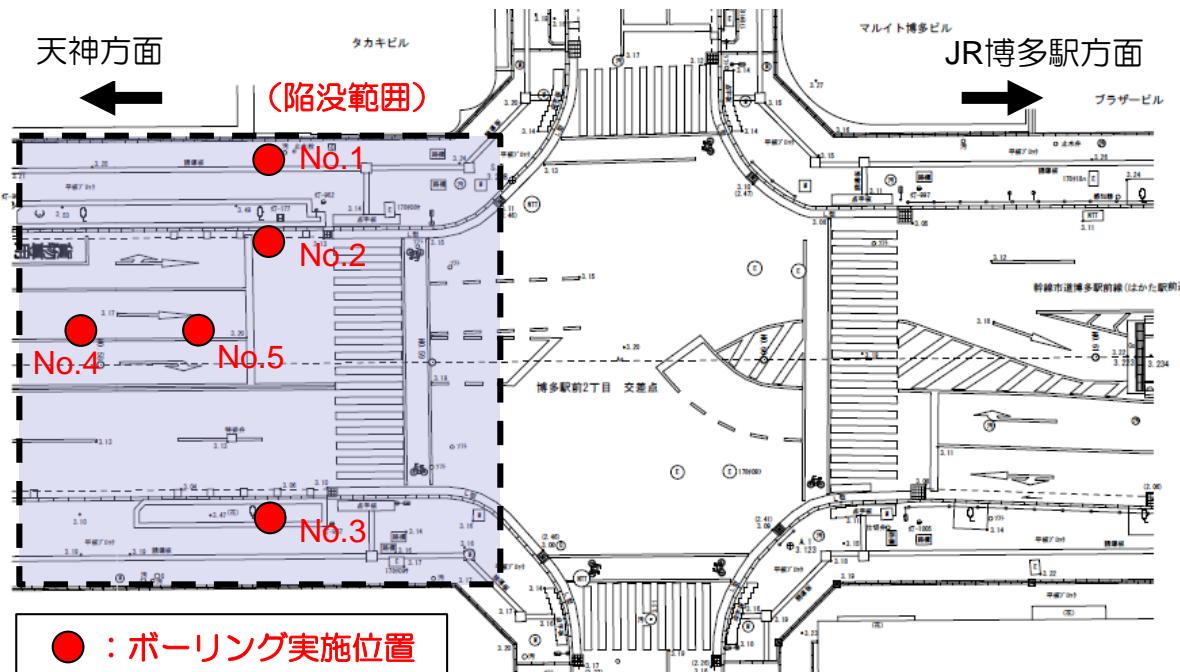
- A 崩壊した地盤の形状の推定と流動化処理土の充填状況を確認する。
- B 流動化処理土以深の地山の状況と地山以外の堆積物の厚さを確認する。
- C D2層（不透水層）の高さを確認する。

■調査箇所

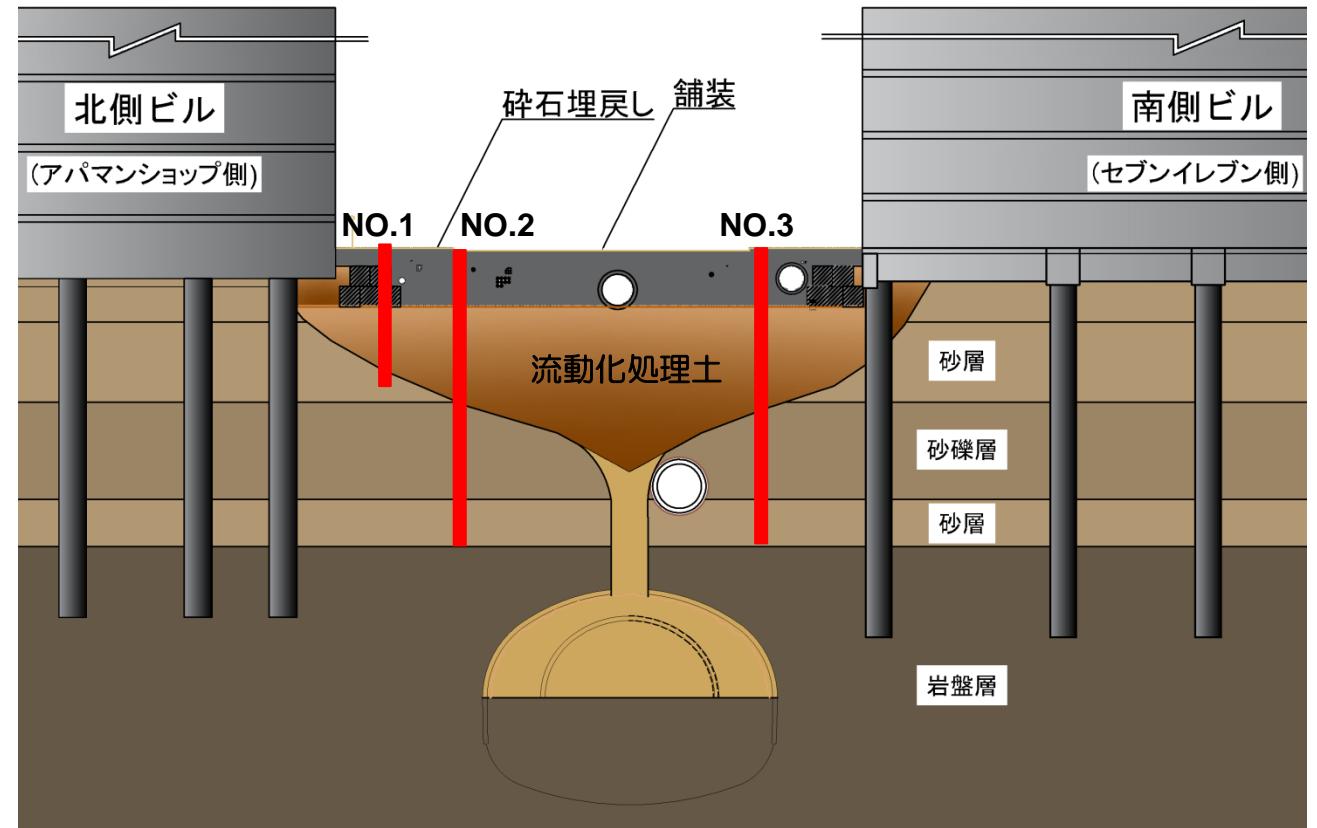
5箇所

Bor.No.	区分	調査目的	調査深度
1	歩道部	A, B	流動化処理土以深の地山を確認できるまで
2	車道部	A, B, C	D2層の上面が確認できるまで
3	歩道部	A, B, C	D2層の上面が確認できるまで
4	車道部	A, B	流動化処理土以深の地山を確認できるまで
5	車道部	A, B, C	D2層の上面が確認できるまで

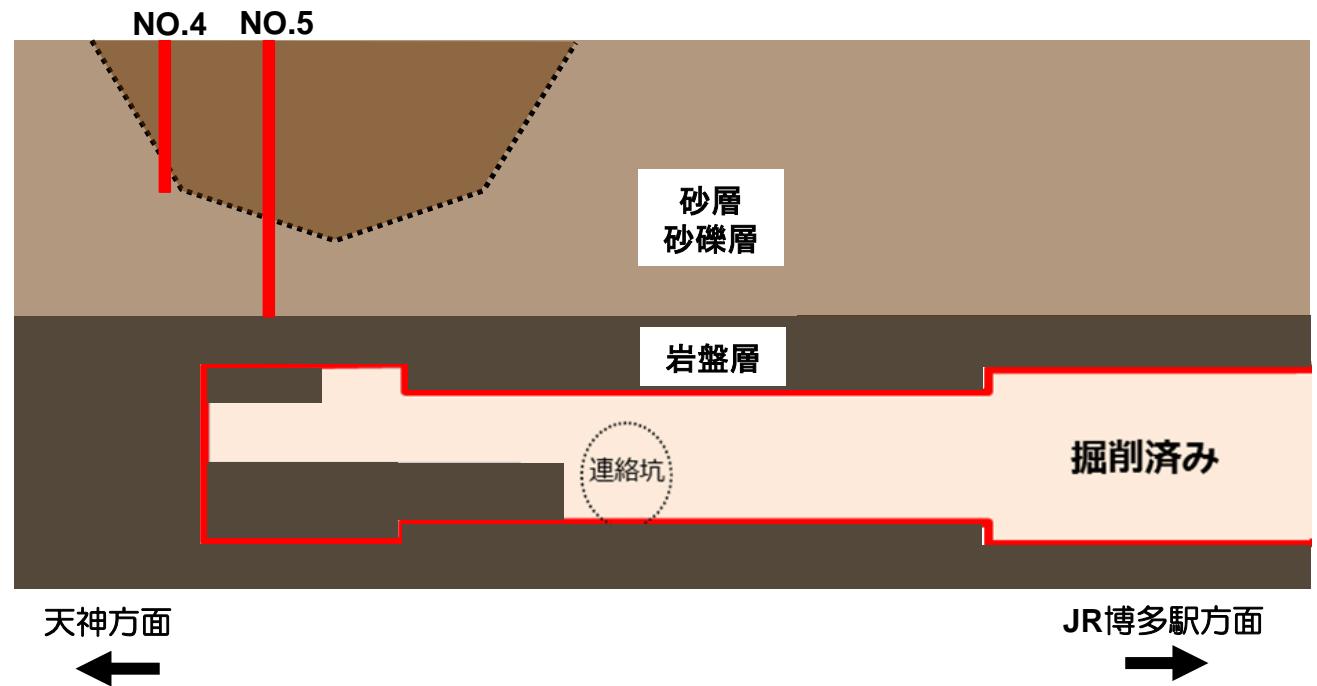
■平面図



■横断面



■縦断面



(1) 調査目的・方法

■調査方法

- ボーリング調査
 - 調査期間：平成28年11月18日(金)より約2週間
 - 掘削孔径：φ66mm
 - オールコアリングと貫入試験により試料採取を実施
- 標準貫入試験
 - 原位置における土の硬軟や締め具合の相対値を知るためのN値の測定と乱した試料の採取
- 室内土質試験
 - 採取した試料を用いて含水比，土粒子の密度，土の粒度試験を実施
 - 調査ボーリング1箇所あたり3～4試料実施

室内土質試験項目一覧表

試験種別	試験から求まる値	規格	試験結果の利用	試験条件	
物理的性質試験	含水比	含水比(%)	JIS A 1203	土の基本的性質の計算 土の鋭敏度合の判別	
	土粒子の密度	土粒子の密度 (g/cm ³)	JIS A 1202	土の基本的性質の計算 各種土質の算定	寸法測定法
	土の粒度試験	粒度 (粒径加積曲線)	JIS A 1204	土の分類	沈降分析

- 層別沈下計
 - 地盤の動きを確認するため
 - No1 (1測点)とNo3 (3測点)に設置

■No.4調査状況



(2) 2016/11/26に生じた沈下と対策

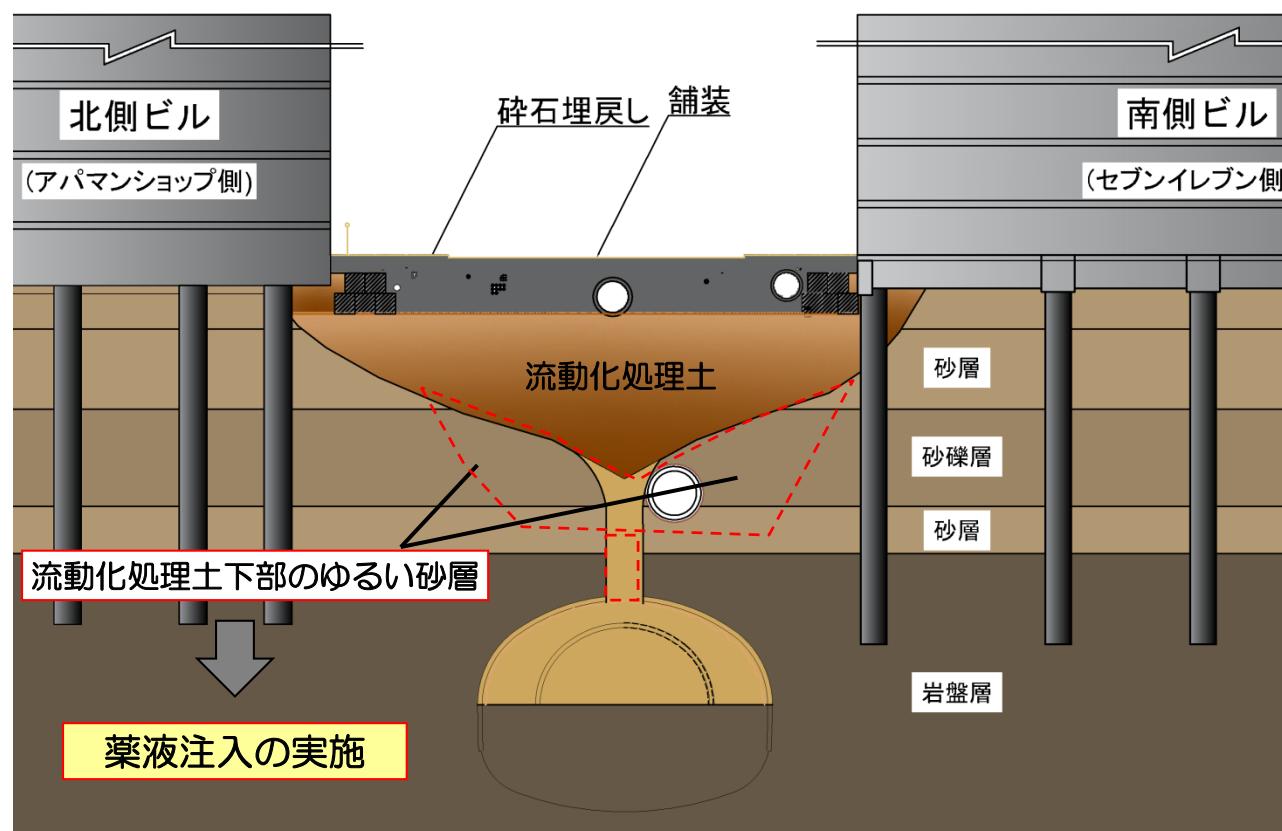
■事象とその原因

2016/11/26 0:30より2時間かけて、流動化処理土下部のゆるい砂層の圧縮により沈下が発生した（平均沈下量38mm）。

■対策とその目的

さらなる道路の沈下防止のため、ゆるい砂層への薬液注入による地盤改良を行うことによる圧縮沈下の防止。

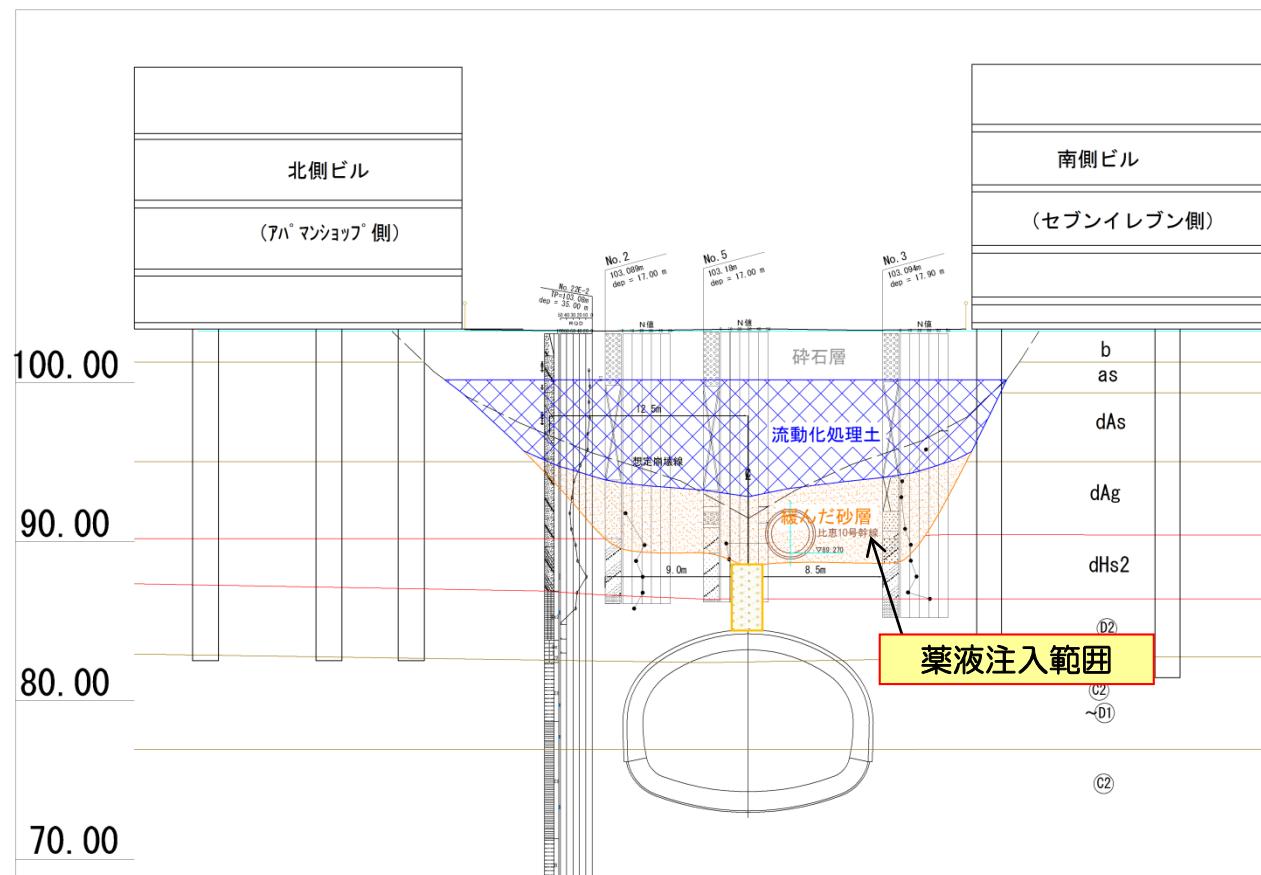
■横断図



(2) 2016/11/26に生じた沈下と対策

○薬液注入範囲

■横断図 (調査結果を反映)



■縦断図 (調査結果を反映)

